

## 地域の農家と共に潤う農業プランⅡ

事業実施主体名	雨河 昇	住 所	鳥取市
プラン認定日	平成23年6月17日	プラン期間	平成23年～平成27年

### 1 プラン内容

#### (1) 概要

平成16年認定の「地域の農家と主に潤う農業プランⅠ」により、経営面積30haを目指して営農してきたが、この目標の達成は見通しがたつたところ。後継者（息子）も平成21年度に就農し、現在は親子で経営を行っている。今後、後継者とともにさらなる規模拡大（40ha）を目指し、効率化・省力化を図りながら、安定的な経営を行っていききたい。また、高齢化等により農家数が減少しており、地域の水田の担い手として農地を守っていききたい。

#### (2) 取り組みポイント

- 経営規模の拡大
- 乾燥・調整作業受託面積の拡大

#### (3) 事業の概要

年度	内 容	事業費 (千円)	補助金額(千円)	
			県	市町村
H23	乾燥場・農機格納庫等整備 穀物搬送機（乾燥機用籾搬送横型コンベア装置）	23,672	3,000	1,500
H24	乗用田植機（6条植） 穀物搬送機（乾燥機用張込装置）9～12t/h 計量袋詰機（フレコンバックスケール）タンク容量3t	4,619	1,540	770
合 計		28,291	4,540	2,270

### 2 プラン実施状況

#### (1) 労働力、経営内容

	認 定 時 (H22)	現 状 (H24)
労働力（雇用）	①家族労力 3人 ②雇用労力 336時間	①家族労力 3人 ②雇用労力 376時間
経営内容・規模	食用米 1,735a 飼料米・その他 825a 大豆 40a	食用米 2,145a 飼料米・その他 1,042a 大豆 0a

(2) 成果

●プラン目標に対する実績

目標であった規模拡大は計画以上に進んでおり、5年後最終目標値の32haに向けて順調に推移している。

一方、作業受託面積は、作業によっては一部計画を下回るものもあるが、本プランで最も力を入れている水稻の乾燥調製についてはほぼ計画どおりである。更に、H25年に新たな機械（粃摺り機）を導入して作業効率を改善することで今後も計画どおり作業をすすめていく。

農業所得は、事業の遅れにより農舎建築が24年度の秋作業に間に合わなかったことにより計画を下回っているが、農舎が完成したので、今後は目標達成に向けて努力したい。

《乾燥施設導入による周囲の声》

- ・保有米で自分が栽培した米が食べられるのが嬉しい。
- ・刈取り後にライスセンターで待つ時間が減った。



事業で導入した乾燥場・農機格納庫

●経営改善の実績

平成22年度より、大豆栽培と比較して転作交付単価が高く、既存の農業機械が利用できる飼料用米に切り替えている。既作付け品種である“コシヒカリ”や“ひとめぼれ”と合わせて植付け比率を検討し、労働力の配分見直しや適期作業を徹底し収量・品質の向上に努めている。

●更なる経営発展方向

過去の経営実績を年次推移で取りまとめ、課題を抽出することで経営改善に生かしたい。

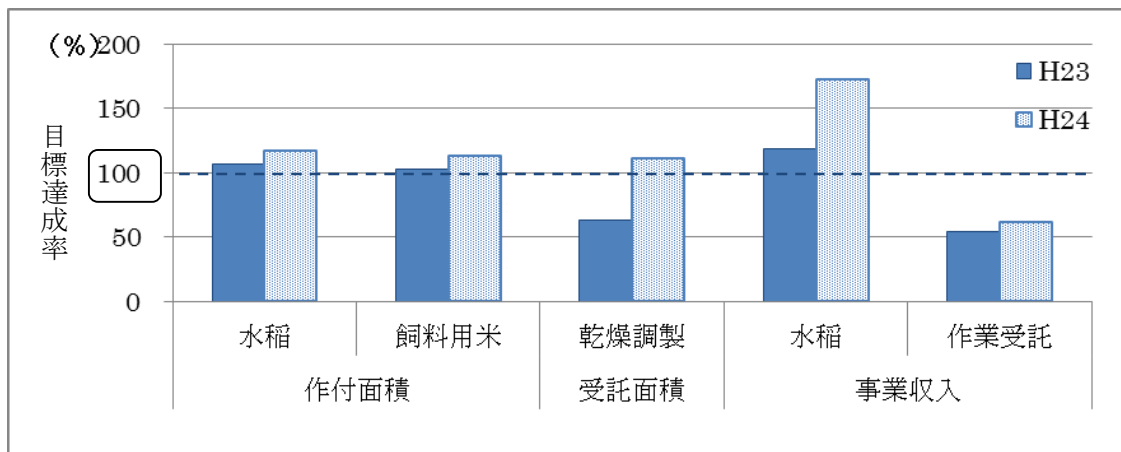


図1. プラン目標に対する実績

注) 目標達成率 (%) : 各年の実績値 / 各年の目標値

[東部総合事務所農林局]